



飯田 昌弘 議員(倉生会)

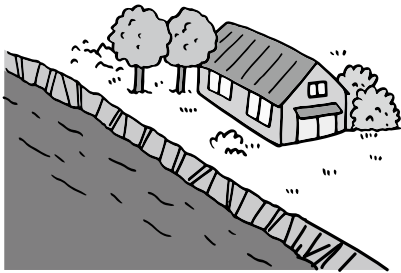
市民の安全・安心な日常生活の確保についで



Q 水害対策について、県が管理する河川だけでなく、佐野市管理の普通河川でも災害が発生している。河川の現状を把握し、個々の整備計画を作成し、現状に合わせた整備を実施するべきと考えるが、どのように考えるか伺いたい。

A 都市建設部長

普通河川については、市内全域に相当数あり、個々の河川整備計画は作成していない状況です。ほとんどの普通河川が未整備となっておりますが、防災上の観点から緊急に整備を必要とする普通河川については、令和3年度から令和7年度までの期間に緊急自然災害防止対策事業計画を策定して、普通河川の改良などを実施していきます。



滝田 洋子 議員(日本共産党議員団)

重度心身障がい者医療費の窓口無料化についで



Q 現在、佐野市において重度心身障がい者医療費は償還払いになっているが、障がい者本人やその家族が安心して受診できるように、本市でも窓口無料化を実施すべきと考える。

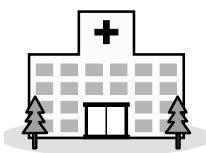
現物給付を実施すると、県の補助率が現在の2分の1から4分の1に引き下げられてしまうが、この引下げの措置の撤廃を働きかけることを佐野市から県に行うことはできないか伺いたい。

A こども福祉部長

本市においては、県議会議員との市政に関する懇談会での要望書や栃木県への要望書において、重度心身障がい者医療費助成制度における現物給付化に対する補助金の補助率引下げの措置の廃止について要望しています。今後も継続的に要望を行っていきたいと考えています。

その他の質問

- ☆高齢者用補聴器購入費用助成について
- ☆視覚障がい者へ発送される郵便封筒について
- ☆特別障害者手当について



金子 保利 議員(志翔会)

市長の市政運営についで



Q 市長は選挙中に副市長を1人にする」と明言していたが、市民に対するその約束をいつ実行するのか伺いたい。

A 市長

現在、私ばかりでなく、両副市長も、職員も一体となって最大の課題である新型コロナウイルス感染症対策に全力を挙げて取り組んでいます。また、令和元年東日本台風からの早期復旧・復興、そして第2次総合計画前期基本計画の推進及び中期基本計画の策定のほか、中長期的に解決をしなければならぬ多くの重要施策が現在あります。それらを進行する中で、融和を図りながら市政運営に取り組んでいくため、当面の間は現状の2人の副市長体制で対応していききたいと考えています。

